

令和元年12月6日

智頭町議会議長 大河原 昭 洋 様

智頭町議会議員 安道 泰治
國本 誠一
高橋 達也
大藤 克紀
岩本 富美男
谷口 雅人
岸本 眞一郎
酒本 敏興
大河原 昭洋

議員派遣結果報告書

令和元年9月20日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 派遣名

東部町議会議長会議員研修会

2. 目的

東部町議会議員を対象に、その職務遂行に必要な知識・情報を提供し、もって議会の使命の達成並びに地方自治の振興発展に寄与することを目的として開催される研修会に参加することにより、今後の議員活動に資する。

3. 派遣場所

岩美郡岩美町浦富1038番地6 「岩美中央公民館」

4. 期 日

令和元年10月11日

5. 内 容 等

(1) 開会あいさつ

会長あいさつ 岩美町議会議長 足立 義明 氏

来賓あいさつ 岩美町長 西垣 英彦 氏

(2) 事例発表

ア. 「町民に寄り添う議会を目指して」～議会の歩み～

若桜町議会 副議長 前住 孝行 氏

イ. 「議会特別委員会の取組み状況」～活動の在り方～

岩美町議会 特別委員会委員長 田中 克美 氏

6. 所 感 等

若桜町議会では、消滅可能性自治体全国ワースト25位となったこともあり、危機感を持って町民に寄り添う議会を目指して様々な改革が行われている。

主なものは、平成21年9月に制定された議会基本条例に基づき、議会活動を検証するため15項目の設問に対して自己評価をし、公表していること、議会報告会を町内全37集落、3議員×3班で実施し、平成30年度は308名、町民の約10%が参加しているということであった。

さらに議会報告会では、開催時期を当初予算の成立後ではなく決算審査後に変えたということで、それは町民に対して、決まった予算の説明をするのではなく、町の決算、事業の成果等を明らかにして、意見・要望等を聞き、次年度の予算、事業に反映させるためとのことだった。また、名称も議員座談会に変えたという。

これは単に、報告会の時期をずらしたり名称を変えたりしただけのものではなく、2元代表制において議会のもつ民意の代弁者としての機能を果たし、町政に反映するためのものであった。

また、岩美町議会では、「議会特別委員会の取組み状況」として、1期目2期目の若い議員も多いため、報酬の議論だけではなく、議会活動のあり方の検討に調査範囲を拡げ、1期目の議員を対象に勉強会を開催して理解を深める取り組みを始めるということだった。

特に印象に残った事は、制度の改革にとどまらず、議員力の向上に向けてしっかり議論のできる議員の育成に、チーム岩美町議会として取り組むということであった。

本町議会でも、議会改革に関して住民アンケートの実施、長期欠席時の議員報酬に関する条例の制定やタブレット端末の導入検討等、様々な取り組みを行っている中で、発表内容はタイムリーで参考になり、また、議会報告会のあり方や政策提言のあり方を見直すきっかけにもなる、充実した研修会であった。